

## 第3章 計画の基本的な考え方

### 1. 基本理念

#### みんなで支えあい、顔と顔でつながるまち 泉佐野

本市の「第5次総合計画」における基本構想では、福祉・健康分野の基本方向を「すこやかで、ひとがつながり支え合うまちづくり」とし、地域福祉部門については「小地域ネットワーク活動などの地域活動を推進し、人と人がつながり、支え合う地域を共に創っていく地域共生社会の実現をめざします」という方向を示しています。

本市の地域福祉計画、地域福祉活動計画においては、これまでも年齢・性別・障害の有無等にかかわらず、すべての市民が地域で自分らしくいきいきと暮らせるよう、市民一人ひとりがつながり、市民・事業所・社協・市が地域の課題を共有し、解決に向けて協働するまちづくりをめざしてきました。この方向は総合計画においても共有され、これからも引き続き追求されるべき基本的な考え方となっています。また、感染症の流行や災害発生時等の非常時においても、大切にされるべき理念です。そこで本計画では、第2次計画の基本理念を引き継ぎ、「みんなで支えあい、顔と顔でつながるまち泉佐野」を基本理念として設定します。

### 2. 基本目標

基本理念である「みんなで支えあい、顔と顔でつながるまち 泉佐野」を実現するため、第2章で示した計画の見直しの方向を踏まえ、次の3つの基本目標を設定して、地域福祉計画・地域福祉活動計画に共通する取り組みの柱とします。

#### 基本目標1：自分らしく生き、チャレンジできる地域をつくろう

一人ひとりの自立と挑戦を支え、安心して自分らしく生きることができる地域づくりに向け、総合的な相談支援や権利擁護の取り組み、自立を支える支援等、分野の枠を越えて必要な人に必要な支援を届ける施策・事業を推進します。

#### 基本目標2：つながり支え合う地域をつくろう

地域における人と人との顔の見える関係づくりと、日頃からつながり支え合う地域づくりを進めるために、参加・交流の場づくりや支援を必要とする人を地域で支える取り組みを行います。

#### 基本目標3：みんなで参加する地域をつくろう

地域活動や福祉活動への積極的な参加のための取り組みや、地域で活躍する人材の育成等、地域福祉活動の活性化に向け、住民参加の拡大に取り組みます。

### 3. 重点項目

これからの地域福祉においては、制度分野ごとの「縦割り」や「支え手」・「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が「我が事」として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて「丸ごと」つながることで、住民一人ひとりの暮らしと、いきがい、地域を共に創っていく「地域共生社会」をめざしていくことが求められます。基本理念の実現に向け、3つの基本目標に基づき実施する施策・事業の中で、特に本計画期間において「地域共生社会」の実現をめざしていく上で、重点的に取り組む分野として、次の2点の重点項目を設定します。

#### 重点項目1：包括的支援体制の整備（丸ごと化）

複合化・複雑化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制の構築に向け、施策分野の枠を越えた、本人・世帯の属性にかかわらず受け止める相談支援や、地域資源を活かしながら、就労支援、居住支援などを提供することで社会とのつながりを回復する参加の支援、地域社会からの孤立を防ぐとともに、地域における多世代の交流や多様な活躍の機会と役割を生み出すための地域づくりの支援等を行い、誰も排除されることのない包括的な支援体制の整備に取り組みます。

#### 重点項目2：地域課題解決のための仕組みづくり（我が事化）

地域福祉施策・事業がより実効性のあるものとなり、地域で生きる様々な人の支えとなるよう、個人・世帯・地域における問題・課題の発見から、関係機関・団体における課題意識の共有、多様な主体の連携や地域資源の活用を通じた課題の解決までを見通すことのできる、地域課題解決のための仕組みづくりに取り組みます。

#### ■包括的支援体制のイメージ図

